

アルツハイマー病の進行を予防する漢方エキス (U511)

本発明の実用化・産業応用を目指して、技術移転を受けて頂く企業様を求めます

Description

アルツハイマー型認知症（アルツハイマー病）は、世界的にも患者数の代表的な認知症の一つである。アルツハイマー病の原因は未だ不明であるが、脳内でアミロイドβタンパク（Aβ）が産生され凝集・蓄積することが原因であるとする説が有力である。

京都大学の垣塚彰先生らは、ある特定の漢方薬エキスに、アルツハイマー病に有効な成分を含むものがあることを見出し、その成分の分子量、分子構造を同定した。

漢方薬の一つであるヒシュカ（植物名ホップ）のエキスは、アミロイド前駆体タンパク質からAβを切り出すγセクレターゼという酵素の働きを阻害する作用を有し、Aβの産生を抑制する。さらに、家族性アルツハイマー病の原因因子を導入したトランスジェニックマウスに、ヒシュカエキスを含む水を長期間飲ませたところ、トランスジェニックマウスの記憶力の低下が改善された。

Advantage

- ① アルツハイマー病による記憶力低下を予防できることを動物実験で確認済み
- ② 長年服用されている漢方薬エキスであり、安全が実証されている
- ③ 副作用の原因と言われるNotchシグナルは抑制しない

左図。
アルツハイマー病モデルマウス（9か月齢）を用いたモリスの水迷路試験結果
6週齢からヒシュカエキス0.2%水を飲ませたマウス（TG-ヒシュカ）では、プラットホームにたどりつくまでに要する時間が、日を追うごとに短縮した。一方、ヒシュカエキスを摂取しなかったマウス（TG-Water）は、全く短縮されなかった。

Business Opportunity

アルツハイマー病のモデルマウスにヒシュカエキスを長期間投与した結果、モデルマウスの記憶力低下を改善することを実験で確認した。

今後は、本発明の実用化・産業応用を目指して、技術移転を受けて頂く企業様を求める。

【本技術の適用産業】

- ✓ 製薬業界、食品業界
- ・ アルツハイマー型認知症の治療、予防薬
- ・ 認知症による記憶力低下を予防する健康食品

Patent

JP 20XX-XXXX

【発明の名称】アルツハイマー病予防薬

【発明者】垣塚彰ほか

【出願人】国立大学法人京都大学

Water Maze Test (9months)

